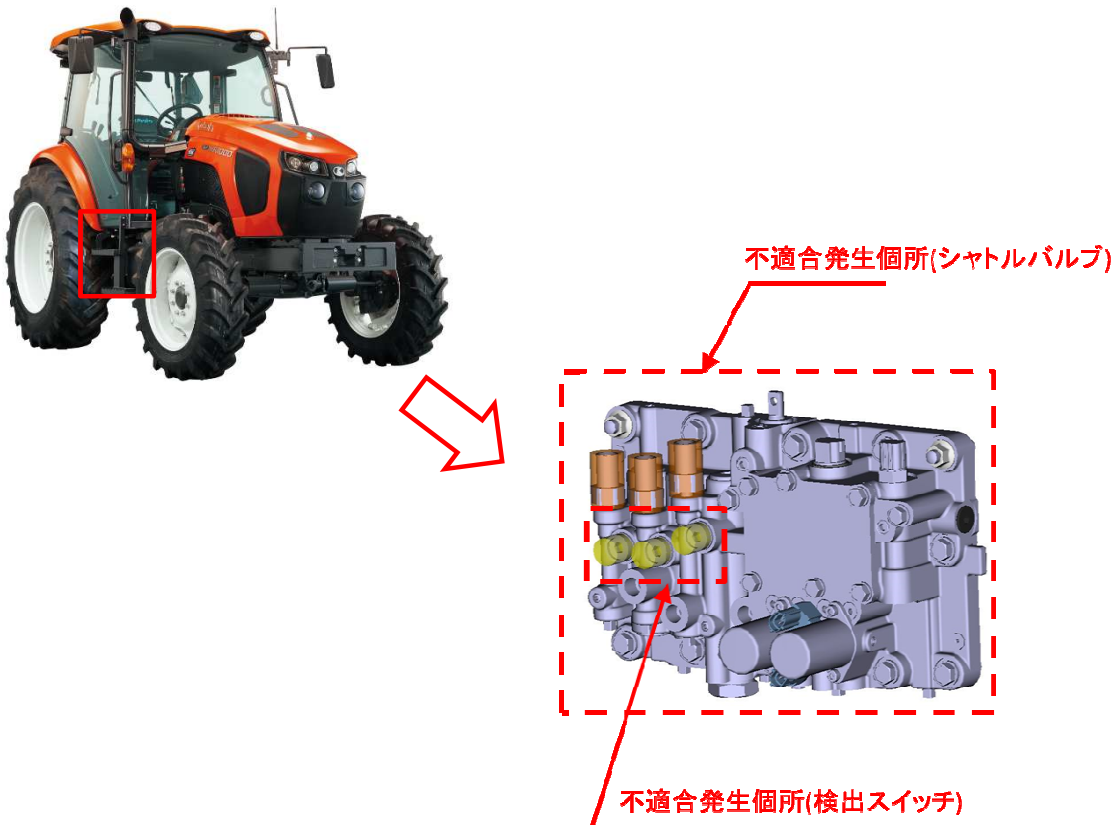


改善箇所説明図



不具合内容:

農耕トラクタの前後進制御用電磁バルブ(シャトルバルブ)において、以下①②の内容により、検出スイッチの誤作動によりエラーが検出され、フェールセーフ機能により走行停止することがある。

また、そのまま使用を続けると徐々にエラーの発生頻度が高くなり、最終的に走行停止後に走行不能に至るおそれがある。

①シャトルバルブ内部の構造が適切でないため、バルブ内部に発生した極微小な油圧の圧力差によりスイッチ作動部部品が押されることで、検出スイッチが誤作動する。

②シャトルバルブの検出スイッチ内部のガスケットに誤った材料を使用したものがあつたため、ガスケットがシャトルバルブ内部の作動油により膨潤し、膨潤したガスケットがスイッチ内部の接点を押し上げ、接触不良により検出スイッチが誤作動する。

改善の内容:

- ①対象車両について、シャトルバルブの検出スイッチ作動部の部品を、圧力差の発生を防止する対策部品に交換する。
- ②対象車両について、シャトルバルブの検出スイッチの製造ロット番号を確認し、誤材料を使用した製造ロットである場合は正規品のスイッチに交換する。

改善後の識別:

右の写真の部位、機種銘板の左下に白色マーキングを実施する。

